

大学番号 私立8

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

北海道文教大学 国際学部 国際教養学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 鶴岡学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	事務局総務部総務課
職名・氏名	カカリチヨウ アサイ ケイタ 係長 浅井 敬太
電話番号	0123-34-0019
（夜間）	0123-34-0019
e-mail	soumu@do-bunkyo dai. ac. jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際学部

＜国際教養学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 鶴岡学園

(2) 大学名

北海道文教大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒061-1449

北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	ワタナベ トシヒロ 渡部 俊弘 平成30年4月		
学部長	ワタナベ マコト 渡部 淳 令和3年4月		
学科長等	ワタナベ マコト 渡部 淳 令和3年4月		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際学部 国際教養学科 学士（国際学）	文学関係	4年	50人	年次人	200人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	50 (-) [-]		0.36倍	-1倍		
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	54 (-) [-]					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	53 (-) [-]					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	44 (-) [-]					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	18 (-) [-]					
入学定員超過率 B/A									0.36					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	18 [0]	[]		
2年次	/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)		
3年次			/		/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
4年次							/		/		[-] (-)	[-] (-)
計			[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)					[-] (-)	[-] (-)

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	人	人	
平成30年度	- 人	- 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	- 人	- 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	- 人	- 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	18 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 国際教養学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	総合教養講座	1前	2			1						兼9
	日本国憲法	1前		2								兼1
	生涯スポーツⅠ	1前		1								兼1
	生涯スポーツⅡ	1後		1								兼1
	情報処理	1前		2								兼1
	統計の基礎	1後		2								兼1
	小計(6科目)	-	4	6	0	1	0	0	0	0		兼12
学部共通科目	English I (Speaking & Listening)	1前	1									兼1
	English II (Reading & Writing)	1後	1			1						兼1
	ことばと心理(外国語学習法入門)	1前	2				1					
	English for Study abroad	1後	2			1						
	中国語入門Ⅰ	1前	1			1						兼1
	中国語入門Ⅱ	1前	1			1						兼1
	中国語入門Ⅲ	1後	1			1						兼1
	日本語Ⅰ	1前		1								兼1
	日本語Ⅱ	1前		1								兼1
	日本語Ⅲ	1前		1								兼1
	アカデミックジャパニーズⅠ	1後		1								兼1
	アカデミックジャパニーズⅡ	1後		1								兼1
	アカデミックジャパニーズⅢ	1後		1								兼1
	総合中国語Ⅰ	2前		2		1						
	総合中国語Ⅱ	2後		2		1						
	中国語コミュニケーション	2前		2		1						
	中国語リスニング	2後		2		1						
	総合中国語Ⅲ	3前		2		1						
	総合中国語Ⅳ	3後		2		1						
	朝鮮語Ⅰ	3前		2								兼1
	朝鮮語Ⅱ	3後		2								兼1
	フランス語Ⅰ	3前		2								兼1
	フランス語Ⅱ	3後		2								兼1
	ロシア語Ⅰ	3前		2								兼1
	ロシア語Ⅱ	3後		2								兼1
	小計(25科目)	-	9	30	0	2	1	0	0	0		兼11
北海道スタディーズ	世界と北海道	1前	2			1						
	ニセコ国際研修	1後	2			6	4					
	アウトドア・ツーリズム研修	1前		2			1					
	北海道の食文化	2前		2		1						
	北海道の社会と文化(多文化共生)	2後		2			1					
	地域連携プロジェクト	3前		2		2	2					
	小計(6科目)	-	4	8	0	6	4	0	0	0		兼0
国際教養科目	Academic English Writing I	1前	2			1	1					
	Academic English Writing II	2後	2			1						兼1
	Academic English Reading	2前	2									兼1
	Integrated Academic English I	3前	2			1						兼1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	総合教養講座	1前	2			1						兼5
	日本国憲法	1後		2								兼1
	生涯スポーツⅠ	1前		1								兼1
	生涯スポーツⅡ	1後		1								兼1
	情報処理	1前		2								兼1
	統計の基礎	1後		2								兼1
	小計(6科目)	-	4	6	0	1	0	0	0	0		兼8
学部共通科目	English I (Speaking & Listening)	1前	1									0
	English II (Reading & Writing)	1後	1			1						0
	ことばと心理(外国語学習法入門)	1前	2				1					
	English for Study abroad	1後	2			1						
	中国語入門Ⅰ	1前	1			1						0
	中国語入門Ⅱ	1前	1			1						0
	中国語入門Ⅲ	1後	1			1						0
	日本語Ⅰ	1前		1								兼1
	日本語Ⅱ	1前		1								兼1
	日本語Ⅲ	1前		1								兼1
	アカデミックジャパニーズⅠ	1後		1								兼1
	アカデミックジャパニーズⅡ	1後		1								兼1
	アカデミックジャパニーズⅢ	1後		1								兼1
	総合中国語Ⅰ	2前		2		1						
	総合中国語Ⅱ	2後		2		1						
	中国語コミュニケーション	2前		2		1						
	中国語リスニング	2後		2		1						
	総合中国語Ⅲ	3前		2		1						
	総合中国語Ⅳ	3後		2		1						
	朝鮮語Ⅰ	3前		2								兼1
	朝鮮語Ⅱ	3後		2								兼1
	フランス語Ⅰ	3前		2								兼1
	フランス語Ⅱ	3後		2								兼1
	ロシア語Ⅰ	3前		2								兼1
	ロシア語Ⅱ	3後		2								兼1
	小計(25科目)	-	9	30	0	2	1	0	0	0		兼7
北海道スタディーズ	世界と北海道	1前	2			1						
	ニセコ国際研修	1後	2			6	4					
	アウトドア・ツーリズム研修	1前		2			1					
	北海道の食文化	2前		2		1						
	北海道の社会と文化(多文化共生)	2後		2			1					
	地域連携プロジェクト	3前		2		2	2					
	小計(6科目)	-	4	8	0	6	4	0	0	0		兼0
国際教養科目	Academic English Writing I	1前	2				1					0
	Academic English Writing II	2後	2			1						兼1
	Academic English Reading	2前	2									兼1
	Integrated Academic English I	3前	2			1						0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際教養科目	Integrated Academic English II	3後	2				1					兼1
	小計 (5科目)	-	10	0	0	2	1	0	0	0		兼2
	国際関係論	1後	2			1						
	経済と社会	1前		2		1						
	国際教養入門	1前		2		1						
	日本政治経済論	1後		2			1					
	世界の感染症	1前		1								兼1
	国際社会と医療	1後		1								兼1
	開発援助論	2前		2								兼1
	国際経済学	2後		2			1					
	比較政治学	2前		2			1					
	国際社会学	2後		2		1						
	地球環境論	2前		2			1					
	国際政治経済学	3前		2		1						
	国際機構と国際法	3後		2			1					
	国際貿易投資論	3前		2			1					
	地方自治論	4前		2		1						
メディア社会論	4前		2								兼1	
国際関係研究	4前		2		1							
小計 (17科目)	-	4	28	0	2	1	0	0	0		兼4	
国際地域研究	国際地域文化論	1前	2			1						
	東アジア地域論	2前		2								兼1
	東南アジア地域論	2後		2		1						
	アフリカ地域論	2前		2								兼1
	ヨーロッパ地域論	2後		2		1						
	北米地域論	1後		2		1						
	中国研究	3後		2								兼1
	アメリカ研究	3前		2		1						
	イギリス研究	3後		2		1						
	EU研究	3前		2			1					
小計 (10科目)	-	2	18	0	3	1	0	0	0		兼2	
社会人基礎力	キャリア入門	1前	2			1	1					
	ICTリテラシー	1後		2								兼1
	キャリアデザイン	3前		2			1					
	経営マネジメント	3前		2			1					
	マーケティング論	3後		2			1					
	インターンシップ	2後		2		1	1					
	ファイナンシャルプランニング	3前		2			1					
	公務員講座I	3後		2			1					
	公務員講座II	3後		2			1					
小計 (9科目)	-	2	16	0	1	1	0	0	0		兼1	
キャリア形成	日本語表現技法I (プレゼンテーション)	1前	2				1					
	世界の言語と日本語	1前		2								兼1
	日本語表現技法II (文章表現)	1後		2			1					
	日本語の表記と語彙	1後		2								兼1
	日本語コミュニケーション技法	2前		2								兼1
	日本語学	2後		2								兼1
	日本語と日本文化	2前		2								兼1
	日本語ビジネスライティング	3後		2			1					
	現代日本語論	3前		2								兼1
	日本語教育法I	3前		2								兼1
	日本語教育法II	3後		2								兼1
	日本語教育演習	4前		1								兼1
小計 (12科目)	-	4	19	0	0	1	0	0	0		兼2	
語学研修	短期語学研修	2前	2			4	2					
	語学研修I	1-2-3-4前・後		2		1						
	語学研修II	1-2-3-4前・後		2		1						
語学研修	語学研修III	1-2-3-4前・後		2		1						
	語学研修IV	1-2-3-4前・後		2		1						
小計 (5科目)	-	2	8	0	4	2	0	0	0		兼0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際教養科目	Integrated Academic English II	3後	2				1					0
	小計 (5科目)	-	10	0	0	1	1	0	0	0		兼1
	国際関係論	1後	2			1						
	経済と社会	1前		2		1						
	国際教養入門	1前		2		1						
	日本政治経済論	1後		2			1					
	世界の感染症	1前		1								兼1
	国際社会と医療	1後		1								兼1
	開発援助論	2前		2								兼1
	国際経済学	2後		2			1					
	比較政治学	2前		2			1					
	国際社会学	2後		2		1						
	地球環境論	2前		2			1					
	国際政治経済学	3前		2		1						
	国際機構と国際法	3後		2			1					
	国際貿易投資論	3前		2			1					
	地方自治論	4前		2		1						
メディア社会論	4前		2								兼1	
国際関係研究	4前		2		1							
小計 (17科目)	-	4	28	0	2	1	0	0	0		兼4	
国際地域研究	国際地域文化論	1前	2			1						
	東アジア地域論	2前		2								兼1
	東南アジア地域論	2後		2		1						
	アフリカ地域論	2前		2								兼1
	ヨーロッパ地域論	2後		2		1						
	北米地域論	1後		2		1						
	中国研究	3後		2								兼1
	アメリカ研究	3前		2		1						
	イギリス研究	3後		2		1						
	EU研究	3前		2			1					
小計 (10科目)	-	2	18	0	3	1	0	0	0		兼2	
社会人基礎力	キャリア入門	1前	2			1	0					
	ICTリテラシー	1後		2								兼1
	キャリアデザイン	3前		2			1					
	経営マネジメント	3前		2			1					
	マーケティング論	3後		2			1					
	インターンシップ	2後		2		1	1					
	ファイナンシャルプランニング	3前		2			1					
	公務員講座I	3後		2			1					
	公務員講座II	3後		2			1					
小計 (9科目)	-	2	16	0	1	1	0	0	0		兼1	
キャリア形成	日本語表現技法I (プレゼンテーション)	1前	2				1					0
	世界の言語と日本語	1前		2								
	日本語表現技法II (文章表現)	1後		2			1					
	日本語の表記と語彙	1後		2								兼1
	日本語コミュニケーション技法	2前		2								兼1
	日本語学	2後		2								兼1
	日本語と日本文化	2前		2								兼1
	日本語ビジネスライティング	3後		2			1					
	現代日本語論	3前		2								兼1
	日本語教育法I	3前		2								兼1
	日本語教育法II	3後		2								兼1
	日本語教育演習	4前		1								兼1
小計 (12科目)	-	4	19	0	0	1	0	0	0		兼2	
語学研修	短期語学研修	2前	2			4	2					
	語学研修I	1-2-3-4前・後		2		1						
	語学研修II	1-2-3-4前・後		2		1						
語学研修	語学研修III	1-2-3-4前・後		2		1						
	語学研修IV	1-2-3-4前・後		2		1						
小計 (5科目)	-	2	8	0	4	2	0	0	0		兼0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
卒業研究	卒業研究プロジェクトI	4前	2			3	2					
	卒業研究プロジェクトII	4後	2			3	2					
	小計(2科目)	-	4	0	0	3	2	0	0	0	0	兼0
合計(97科目)			-	45	133	0	6	4	0	0	0	兼28
卒業要件及び履修方法												
全学共通科目8単位以上、共通外国語10単位以上、北海道スタディーズ5単位以上、国際教養科目の中で、国際教養英語科目10単位以上、国際政治経済科目と国際地域研究科目から40単位以上の合計50単位以上、キャリア形成20単位以上、短期語学研修2単位、卒業研究4単位を含む124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限: 46単位(年間) また、2年次終了時62単位以上取得を3年次のへの進級要件とする。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
卒業研究	卒業研究プロジェクトI	4前	2			3	2					
	卒業研究プロジェクトII	4後	2			3	2					
	小計(2科目)	-	4	0	0	3	2	0	0	0	0	兼0
合計(97科目)			-	45	133	0	6	4	0	0	0	兼22
卒業要件及び履修方法												
全学共通科目8単位以上、共通外国語10単位以上、北海道スタディーズ5単位以上、国際教養科目の中で、国際教養英語科目10単位以上、国際政治経済科目と国際地域研究科目から40単位以上の合計50単位以上、キャリア形成20単位以上、短期語学研修2単位、卒業研究4単位を含む124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限: 44単位(年間) また、2年次終了時62単位以上取得を3年次のへの進級要件とする。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合教養講座の科目担当体制の見直しにより、兼任・兼任の配置を「兼9」から「兼5」に変更。 ・ 令和3年度入学人数を鑑みて1クラス開講としたことにより、以下のとおり変更。 「English II (Reading & Writing)」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。 「中国語入門I」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。 「中国語入門II」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。 「中国語入門III」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。 「Academic English Writing I」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。 ・ 担当教員の就任辞退により、以下のとおり変更。 「English I (Speaking & Listening)」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。 「Integrated Academic English I」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。 「Integrated Academic English II」の兼任・兼任の配置を「兼1」から「兼0」に変更。 ・ 上記理由により、以下の項目に係る兼任・兼任教員数を変更。 「全学共通科目」の兼任・兼任教員数の小計を「兼12」から「兼8」に変更。 「共通外国語」の兼任・兼任教員数の小計を「兼11」から「兼7」に変更。 「国際教養英語」の専任教員等配置の配置及び兼任・兼任教員数の小計を「教授2」から「教授1」に、「兼2」から「兼1」に変更。 「合計」の兼任・兼任教員数の小計を「兼28」から「兼22」に変更。 ・ 全学共通科目である「日本国憲法」の開講期を、他学部(5学科)の開講期に合わせ、「前期」から「後期」に変更。 ・ 小山田 健准教授の担当科目の見直しにより、「キャリア入門」を削除したため、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 誤記載のため履修科目の年間登録上限を「46単位」から「44単位」に修正。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
25 科目	72 科目	0 科目	97 科目	25 科目	72 科目	0 科目	97 科目	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{97} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道文教大学附属高等学校 (仮称) (必要面積11,760㎡)と共用(収容定員:480人)校名確定(移転済)のため(3)			
	校舎敷地	63,729㎡	0㎡	0㎡	63,729㎡				
	運動場用地	0㎡	36,804.85㎡	0㎡	36,804.85㎡				
	小 計	63,729㎡	36,804.85㎡	0㎡	100,533.85㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	12,297.32㎡	12,297.32㎡				
	合 計	63,729㎡	36,804.85㎡	12,297.32㎡	112,831.17㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	34,835.34㎡ (34,835.34㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	34,835.34㎡ (34,835.34㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	37室	7室	27室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	国際学部 国際教養学科			11 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書154,000 190,000 〔19,300〕 〔21,300〕 学術雑誌170 〔37〕 電子ジャーナル 4,000〔2,380〕 視聴覚 6,200 電子書籍 730 650 札幌分館所蔵書籍を除却(3)	
		国際学部	22〔13〕	2,300〔2,300〕	2,750	8,853	149		
	計	22〔13〕	2,300〔2,300〕	2,750	8,853	149			
	53,000〔10,200〕 67,200〔15,300〕 (53,000〔10,200〕) 67,200〔15,300〕	22〔13〕	2,300〔2,300〕	2,750	8,853	149			
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	2,458 ㎡		324 席	193,000 冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	2,415 ㎡		野球場 1面		テニスコート 2 面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当り研究費等は届出学部全体
		教員1人当り研究費等	千円	500千円	図書購入費	0千円 1,500	234千円 1,500	234千円 1,500	
		共同研究費等	千円	10,000千円	設備購入費	0千円 2,027	0千円 2,027	0千円 2,027	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	届出学部全体	
		1,160千円	1,160千円	1,160千円	1,160千円	— 千円	— 千円	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。 図書購入費・設備購入費については、既存学部(外国語学部)の環境で対応可能であったため修正(3)	
	学生納付金以外の維持方法の概要		学生納付金以外には、資産運用収入、手数料収入、寄付金収入等を充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	北海道文教大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	備考	
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					平均入学定員超過率
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
大学院											北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1
グローバルコミュニケーション研究科											
言語文化コミュニケーション専攻	2	5	-	10	修士(言語文化コミュニケーション)	0.80	0.80		平成15年度		
健康栄養科学研究科											同上
健康栄養科学専攻	2	4	-	8	修士(健康栄養科学)	0.50	0.50		平成27年度		
リハビリテーション科学研究科											同上
リハビリテーション科学専攻	2	4	-	8	修士(リハビリテーション学)	1.00	1.00		平成29年度		
こども発達学研究科											同上
こども発達学専攻	2	4	-	8	修士(こども発達学)	0.50	0.50		平成29年度		
大学院全体	-	17	-	34	-	-	-	-	-	-	-
外国語学部											同上
国際言語学科	4	-	-	-	学士(外国語)	-	-	-	平成22年度		令和3年度より学生募集停止
人間科学部											同上
健康栄養学科	4	150	-	600	学士(健康栄養学)	0.70	0.70		平成15年度		
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法学)	1.25	1.25		平成18年度		
作業療法学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	0.65	0.65		平成19年度		
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.41	1.41		平成20年度		
こども発達学科	4	100	-	400	学士(こども発達学)	0.72	0.72		平成22年度		
国際学部											同上
国際教養学科	4	50	-	200	学士(国際学)	0.36	0.36		令和3年度		
国際コミュニケーション学科	4	50	-	200	学士(国際学)	0.72	0.72		令和3年度		
大学全体	-	550	-	2200	-	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際学部 国際教養学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡部 淳 〈令和3年4月1日〉 M.A. in International Studies
		総合教養講座 ※ ニセコ国際研修 国際関係論 国際教養入門 国際政治経済学 国際関係研究 国際地域文化論 ヨーロッパ地域論 短期語学研修 語学研修 I 卒業研究プロジェクト I 卒業研究プロジェクト II
専	教授	渡部 俊弘 〈令和3年4月1日〉 博士(農芸化学)
		総合教養講座 ※ ニセコ国際研修 北海道の食文化 地域連携プロジェクト
専	教授	蘇 氷 〈令和3年4月1日〉 文学博士
		中国語入門 I 中国語入門 II 中国語入門 III 総合中国語 I 総合中国語 II 中国語コミュニケーション 中国語リスニング 総合中国語 III 総合中国語 IV ニセコ国際研修 短期語学研修 語学研修 II
専	教授	Stephen L. Toskar 〈令和3年4月1日〉 M.A. in Literature
		English I (Speaking & Listening) ニセコ国際研修

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渡部 淳 〈令和3年4月1日〉 M.A. in International Studies
		ニセコ国際研修 国際関係論 国際教養入門 国際政治経済学 国際関係研究 国際地域文化論 ヨーロッパ地域論 短期語学研修 語学研修 I 卒業研究プロジェクト I 卒業研究プロジェクト II
専	教授	渡部 俊弘 〈令和3年4月1日〉 博士(農芸化学)
		総合教養講座 ※ ニセコ国際研修 北海道の食文化 地域連携プロジェクト
専	教授	蘇 氷 〈令和3年4月1日〉 文学博士
		中国語入門 I 中国語入門 II 中国語入門 III 総合中国語 I 総合中国語 II 中国語コミュニケーション 中国語リスニング 総合中国語 III 総合中国語 IV ニセコ国際研修 短期語学研修 語学研修 II
専	教授	Stephen L. Toskar 〈令和3年4月1日〉 M.A. in Literature
		English I (Speaking & Listening) ニセコ国際研修

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	Peter Richardson 〈令和3年4月1日〉 Ph.D. in English Language
		ニセコ国際研修 Academic English Writing II Integrated Academic English I 東南アジア地域論 イギリス研究 短期語学研修 語学研修III 卒業研究プロジェクトI 卒業研究プロジェクトII
専	教授	Walzem Allen 〈令和3年4月1日〉 英米文学博士
		English II (Reading & Writing) English for Study Abroad ニセコ国際研修 Academic English Writing I 北米地域論 アメリカ研究 短期語学研修 語学研修IV 卒業研究プロジェクトI 卒業研究プロジェクトII
専	教授	井門 正美 〈令和3年4月1日〉 博士(教育学)
		ニセコ国際研修 地域連携プロジェクト 経済と社会 国際社会学 地方自治論 キャリア入門 インターンシップ
専	准教授	矢部 玲子 〈令和3年4月1日〉 修士(教育学)
		ニセコ国際研修 日本語表現技法I(プレゼンテーション) 日本語表現技法II(文章表現) 日本語ビジネスライティング 短期語学研修
専	准教授	沢谷 佑輔 〈令和3年4月1日〉 修士(教育学)
		ことばと心理(外国語学習法入門) ニセコ国際研修 Academic English Writing I Integrated Academic English II 短期語学研修 卒業研究プロジェクトI 卒業研究プロジェクトII

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	Peter Richardson 〈令和3年4月1日〉 Ph.D. in English Language
		ニセコ国際研修 Academic English Writing II Integrated Academic English I 東南アジア地域論 イギリス研究 短期語学研修 語学研修III 卒業研究プロジェクトI 卒業研究プロジェクトII
専	教授	Walzem Allen 〈令和3年4月1日〉 英米文学博士
		English II (Reading & Writing) English for Study Abroad ニセコ国際研修 北米地域論 アメリカ研究 短期語学研修 語学研修IV 卒業研究プロジェクトI 卒業研究プロジェクトII
専	教授	井門 正美 〈令和3年4月1日〉 博士(教育学)
		ニセコ国際研修 地域連携プロジェクト 経済と社会 国際社会学 地方自治論 キャリア入門 インターンシップ
専	准教授	矢部 玲子 〈令和3年4月1日〉 修士(教育学)
		ニセコ国際研修 日本語表現技法I(プレゼンテーション) 日本語表現技法II(文章表現) 日本語ビジネスライティング 短期語学研修
専	准教授	沢谷 佑輔 〈令和3年4月1日〉 修士(教育学)
		ことばと心理(外国語学習法入門) ニセコ国際研修 Academic English Writing I Integrated Academic English II 短期語学研修 卒業研究プロジェクトI 卒業研究プロジェクトII

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	宮本 融 〈令和3年4月1日〉 M.A. in Law and Diplomacy
		ニセコ国際研修 地域連携プロジェクト 日本政治経済論 国際経済学 比較政治学 地球環境論 国際機構と国際法 国際貿易投資論 EU研究 卒業研究プロジェクトI 卒業研究プロジェクトII
専	准教授	小山田 健 〈令和3年4月1日〉 経営管理修士(専門職)
		世界と北海道 ニセコ国際研修 アウトドア・ツーリズム研修 北海道の社会と文化(多文化共生) 地域連携プロジェクト キャリア入門 キャリアデザイン 経営マネジメント マーケティング論 インターンシップ ファイナンシャルプランニング 公務員講座I 公務員講座II
兼任	教授	小西 正人 〈令和3年4月1日〉 博士(文学)
		総合教養講座 ※ 世界の言語と日本語 日本語の表記と語彙 日本語コミュニケーション技法 日本語学
兼任	教授	岡本 佐智子 〈令和3年4月1日〉 修士(国際コミュニケーション)
		日本語と日本文化 現代日本語論 日本語教育法I 日本語教育法II 日本語教育演習
兼任	准教授	魯 諍 〈令和3年4月1日〉 修士(国際広報メディア)
		メディア社会論 東アジア地域論 中国研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	宮本 融 〈令和3年4月1日〉 M.A. in Law and Diplomacy
		ニセコ国際研修 地域連携プロジェクト 日本政治経済論 国際経済学 比較政治学 地球環境論 国際機構と国際法 国際貿易投資論 EU研究 卒業研究プロジェクトI 卒業研究プロジェクトII
専	准教授	小山田 健 〈令和3年4月1日〉 経営管理修士(専門職)
		世界と北海道 ニセコ国際研修 アウトドア・ツーリズム研修 北海道の社会と文化(多文化共生) 地域連携プロジェクト キャリアデザイン 経営マネジメント マーケティング論 インターンシップ ファイナンシャルプランニング 公務員講座I 公務員講座II
兼任	教授	小西 正人 〈令和3年4月1日〉 博士(文学)
		世界の言語と日本語 日本語の表記と語彙 日本語コミュニケーション技法 日本語学
兼任	教授	岡本 佐智子 〈令和3年4月1日〉 修士(国際コミュニケーション)
		日本語と日本文化 現代日本語論 日本語教育法I 日本語教育法II 日本語教育演習
兼任	准教授	魯 諍 〈令和3年4月1日〉 博士(国際広報メディア)
		メディア社会論 東アジア地域論 中国研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Charlebois Justin Michael 〈令和3年4月1日〉 Ph. D in Applied Linguistics English I (Speaking & Listening) Integrated Academic English I Integrated Academic English II
兼任	講師	Tomasine Joseph Samuel 〈令和3年4月1日〉 M. A. in Teaching TESOL Academic English Writing II Academic English Reading
兼任	教授	田邊 芳恵 〈令和3年4月1日〉 博士(医学) 国際社会と医療
兼任	教授	木村 浩一 〈令和3年4月1日〉 博士(医学) 総合教養講座 ※ 世界の感染症
兼任	教授	横井 裕一郎 〈令和3年4月1日〉 博士(理学療法学) 総合教養講座 ※
兼任	教授	大川 浩子 〈令和3年4月1日〉 博士(作業療法学) 総合教養講座 ※
兼任	教授	高岡 哲子 〈令和3年4月1日〉 博士(保健学) 総合教養講座 ※
兼任	教授	山口 宗兼 〈令和3年4月1日〉 修士(教育学) 総合教養講座 ※
兼任	教授	中村 至 〈令和3年4月1日〉 教育学士 総合教養講座 ※
兼任	講師	小塚 美由記 〈令和3年4月1日〉 修士(教育学) 総合教養講座 ※
兼任	教授	松岡 審爾 〈令和3年4月1日〉 博士(医学) 総合教養講座 ※ 情報処理 ICTリテラシー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Tomasine Joseph Samuel 〈令和3年4月1日〉 M. A. in Teaching TESOL Academic English Writing II Academic English Reading
兼任	教授	田邊 芳恵 〈令和3年4月1日〉 博士(医学) 国際社会と医療
兼任	教授	木村 浩一 〈令和3年4月1日〉 博士(医学) 世界の感染症
兼任	教授	中村 至 〈令和3年4月1日〉 教育学士 総合教養講座 ※
兼任	准教授	小塚 美由記 〈令和3年4月1日〉 博士(保健学) 総合教養講座 ※
兼任	教授	松岡 審爾 〈令和3年4月1日〉 博士(医学) 総合教養講座 ※ 情報処理 ICTリテラシー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	瀧山 晃弘 ＜令和3年4月1日＞ 博士(医学)
		統計の基礎
兼任	准教授	平岡 英樹 ＜令和3年4月1日＞ 体育学士
		生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ
兼任	講師	富山 侑美 ＜令和3年4月1日＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	吉田 勉幸 ＜令和4年4月1日＞ 修士(国際広報メディア)
		開発援助論 アフリカ地域論
兼任	講師	及川 陽子 ＜令和3年4月1日＞ 博士(文学)
		English II (Reading & Writing)
兼任	講師	阿部 仁美 ＜令和3年4月1日＞ 修士(教育学)
		日本語Ⅰ アカデミックジャパニーズⅠ
兼任	講師	富田 麻知子 ＜令和3年4月1日＞ 修士(国際広報メディア)
		日本語Ⅱ アカデミックジャパニーズⅡ
兼任	講師	傳法 智恵美 ＜令和3年4月1日＞ 経営学士
		日本語Ⅲ アカデミックジャパニーズⅢ
兼任	講師	呉 秀娟 ＜令和3年4月1日＞ 修士(文学)
		中国語入門Ⅰ 中国語入門Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	武田 裕康 ＜令和3年4月1日＞ 博士(理学療法学)
		統計の基礎
兼任	准教授	平岡 英樹 ＜令和3年4月1日＞ 体育学士
		生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ
兼任	教授	白戸 力弥 ＜令和3年4月1日＞ 博士(医学)
		総合教養講座※
兼任	教授	大森 圭 ＜令和3年4月1日＞ 理学療法学修士
		総合教養講座※
兼任	講師	富山 侑美 ＜令和3年4月1日＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	吉田 勉幸 ＜令和4年4月1日＞ 修士(国際広報メディア)
		開発援助論 アフリカ地域論
兼任	講師	阿部 仁美 ＜令和3年4月1日＞ 修士(教育学)
		日本語Ⅰ アカデミックジャパニーズⅠ
兼任	講師	富田 麻知子 ＜令和3年4月1日＞ 修士(国際広報メディア)
		日本語Ⅱ アカデミックジャパニーズⅡ
兼任	講師	傳法 智恵美 ＜令和3年4月1日＞ 経営学士
		日本語Ⅲ アカデミックジャパニーズⅢ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	胡 耀光 ＜令和3年4月1日＞ 博士(環境工学)
		中国語入門Ⅱ
兼任	講師	チェ ヒョンジン ＜令和5年4月1日＞ 博士(文学)
		朝鮮語Ⅰ
兼任	講師	パク クォンホ ＜令和5年4月1日＞ 博士(法学)
		朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	Nicolas Jegonday ＜令和5年4月1日＞教 育工学修士
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	鈴木 理奈 ＜令和5年4月1日＞ 博士(文献学)
		ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	チェ ヒョンジン ＜令和5年4月1日＞ 博士(文学)
		朝鮮語Ⅰ
兼任	講師	パク クォンホ ＜令和5年4月1日＞ 博士(法学)
		朝鮮語Ⅱ
兼任	講師	Nicolas Jegonday ＜令和5年4月1日＞教 育工学修士
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	鈴木 理奈 ＜令和5年4月1日＞ 博士(文献学)
		ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・総合教養講座の科目担当体制の見直しにより、担当教員を以下のとおり変更。
 - 渡部 淳教授の担当科目から削除。
 - 小西 正人教授の担当科目から削除。
 - 木村 浩一教授の担当科目から削除。
 - 横井 裕一郎教授の担当科目から削除。
 - 大川 浩子教授の担当科目から削除。
 - 高岡 哲子教授の担当科目から削除。
 - 山口 宗兼教授の担当科目から削除。
 - 白戸 力弥教授を科目担当に追加。
 - 大森 圭教授を担当に追加。
- ・令和3年度入学者数を鑑みて1クラス開講としたことにより、以下のとおり変更。
 - Charlebois Justin Michael准教授の担当科目から「English I (Speaking & Listening)」を削除。
 - 及川 陽子講師の担当科目から「English II (Reading & Writing)」を削除。
 - 呉 秀娟講師の担当科目から「中国語入門Ⅰ」を削除。
 - 呉 秀娟講師の担当科目から「中国語入門Ⅲ」を削除。
 - 胡 耀光講師の担当科目から「中国語入門Ⅱ」を削除。
 - Walzem Allen教授の担当科目から「Academic English Writing I」を削除。
- ・小山田 健准教授の担当科目の見直しにより1科目削除。
- ・本人の一身上の都合により、Charlebois Justin Michael准教授就任辞退。
- ・科目担当体制の見直しにより、「統計の基礎」の担当教員を武田 裕康講師に変更。
- ・学位取得のため、魯 諤准教授の保有学位変更。
- ・学位取得及び昇任のため、小塚 美由記の保有学位と職位変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	4	0	0	10	0	7	4	0	0	11	0
(7)	(4)	(0)	(0)	(11)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	4	0	0	10	0	7	4	0	0	11	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{10} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{11} = \boxed{27.27} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{10} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

□ 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (令和2年)	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>完成年度前に定年規程に定める退職年齢を超える専任教員が複数含まれているが、これは、今回の国際学部設置計画にあたり、いずれの教員についても必要不可欠な人材であるとの判断によるものである。</p> <p>今後の教員組織の編成にあたっては、定年規程の趣旨、及び教育の質の保証・向上の観点から「国際教養学科 教員一覧（将来計画（案））」（資料1）に基づき、適切な教員組織（年齢構成及び職位等）を編成するため、新規の採用活動を実施する。</p>	<p>遵守事項</p> <p>履行中</p>	
設置計画履行状況 調 査 時	「該当なし」			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 国際教養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

・教育開発センター

教育開発センターは北海道文教大学及び北海道文教大学大学院における体系的教育課程の編成と実施体制の強化、ファカルティ・ディベロプメント（FD）と教育方法の改善及びグッド・プラクティス開発・推進に関する検討を行い、本学の教育を活性化することを目的とする全学的な組織である。

教育開発センターは教育開発センター会議が運営し、センター長（学長）の指示に従い副センター長、センター室長、センター員が協議して大学改革に係わる業務を推進する戦略的拠点である。

（資料2:北海道文教大学及び北海道文教大学大学院教育開発センター規程）

カリキュラムの改善に関して、教育開発センターは、全学的視野から基本方針を策定し、学科等に改善を求めることができる。提供科目の変更・新設に関し、学部・学科等は教育開発センターと協議することとしている。

ファカルティ・ディベロプメント（FD）に関して、教育開発センターは、研究者または実務家としての確かな実績に基づく質の高い効果的な授業展開ができる教員になるために必要な以下の能力を伸ばす目的で実施する。

- ・学識を創造する研究能力や実務家としての能力
- ・授業科目の価値や学びの重要性を学生に伝える能力
- ・学生に適した内容や方法で授業を実現するための授業設計及び評価能力（授業デザイン力）
- ・動機づけ・学修意欲向上を促す授業を可能とする能力（ICT活用も含む）
- ・学外の企業、臨地実習先と協力し授業の価値を点検・評価する能力
- ・社会生活に必要な人間基礎力の指導能力
- ・学生の授業評価アンケート等を用いて常に授業を改善することができる能力

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【2020年度】

- ・教育開発センターFD授業改善部門会議：2020年4月8日、2020年6月3日
（大学の委員会組織の改編により降は教育開発センター会議で実施）

・教育開発センター会議：

2020年7月22日、2020年9月2日、2020年10月7日、2020年11月4日、2020年12月2日
2021年1月15日、2021年2月3日、2021年3月3日

構成員：センター長（学長）、副センター長（副学長）、センター室長、センター員（各学部長及び各学科長）

c 委員会の審議事項等

- ・教育課程の編成、ファカルティ・ディベロプメントと教育方法の改善及びグッド・プラクティス開発・推進に関する検討を行う。
 - ・授業評価アンケートの活用方法について
 - ・シラバス作成について
 - ・3つのポリシーについて 等

② 実施状況

a 実施内容

【2020年度】

◎FD

- ・大学全体のFD
 - ・新任教員向けFD研修会
 - ・シラバス作成に関する研修会

- ・外国語学部 F D
 - ・遠隔授業についての研修会 等
- ・人間科学部 F D
 - ・遠隔授業について等の研修会
 - ・eラーニングについての研修会 等
- ・学科 F D
 - ・入学前教育、入学後教育に関する研修会 等
- ・研究科 F D
 - ・中国の大学教育システムの研究に関する研修会 等

◎SD

- ・新任教職員事務説明会（2020年4月1日：事務局各部所掌の関連事項の説明）
- ・SD研修会（2021年2月17日：「北海道SDGs推進プラットフォーム 第4回SDGs研究会」）
- ・SD研修会（2021年3月15日：『日経SDGsフォーラム特別シンポジウム「消費者共創会議」』）

事務局主催により、

b 実施方法

◎FD

大学全体のFD研修会は、教育開発センターが企画し、テーマによって外部講師および学内講師が担当して実施し、全体の課題等について学長および教育開発センター室長から説明のうえ意見交換等を行っている。学部ごとのFD研修会は、学部長が各学科からの意見などにより企画し、テーマによって外部講師および学内講師が担当して実施している。

学科ごとのFD研修会は、各学科が企画し、テーマによって外部講師および学内講師が担当して実施している。各研究科のFD研修会は、各研究科が企画し、テーマによって外部講師および学内講師が担当して実施している。

いずれも、企画内容を教育開発センターに報告し、他学科の教員も参加可能としている。

◎SD

- ・新任教職員事務説明会
 - ・大学の管理・運営の円滑な遂行に携わっていく必要から、事務局主催により、各部の所掌の関連事項について説明。
- ・SD研修会（「北海道SDGs推進プラットフォーム 第4回SDGs研究会」）
 - ・本学における教育・研究にSDGsの観点を取り入れ、活かしていくことを目的として開催。
- ・SD研修会（『日経SDGsフォーラム特別シンポジウム「消費者共創会議」』）
 - ・本学における教育・研究にSDGsの観点を取り入れ、活かしていくことを目的として開催。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

◎FD

- ・新任教員向けFD研修会「授業を行うにあたって」
開催日：2020年4月1日 出席8名（新任教員）
- ・シラバス作成に関する研修会
開催日 2021年2月1日～2月19日 61名参加（オンデマンドでの開催）
- ・国際言語学科研修会「言語教育における遠隔授業についての考え方、進め方」
開催日：2020年5月7日 8名出席
- ・健康栄養学科研修会「遠隔授業にかかわるソフト・機材の紹介と使用法」
開催日：2021年3月10日 18名出席
- ・健康栄養学科研修会令和3年度介護報酬改定及び介護予防の方向性」
開催日：2021年3月5日～3月26日 18名参加（オンデマンドでの開催）
- ・理学療法学科研修会「Moodleの使い方」
開催日：2020年4月8日 15名出席
- ・理学療法学科研修会「令和2年入学前教育、入学後教育」
開催日：2021年2月3日 16名出席
- ・作業療法学科研修会「作業療法士教育におけるOSCEの導入と学生評価」
開催日：2020年11月8日 11名出席（オンライン）
- ・作業療法学科研修会「作業療法教育評価の変遷とこれから」
開催日：2020年11月1日～11月15日 11名参加（オンデマンド）
- ・看護学科研修会「看護教員のためのオンライン授業の具体的な方法とコツ」
開催日：2020年5月14日 24名出席（オンライン）
- ・こども発達学科研修会「chromebook」の特徴、使い方等遠隔授業における「グループワーク」
開催日：2021年1月6日 19名出席
- ・グローバルコミュニケーション研究科研修会「中国の大学教育システム研究-「高考」と「双学位」の真相-」
開催日：2020年7月29日 5名出席

- ・リハビリテーション科学研究科研修会「最近の研究のトピック「形態学における位相幾何学的方法について」
大学院生の成長のための研究指導法について 開催日：2021年3月31日 18名出席（対面及びオンライン）
- ・こども発達学研究科研修会「私の教育学ノート」
開催日：2021年3月9日 16名出席

◎SD

- ・新任教職員事務説明会（令和2年4月1日：事務局各部所掌の関連事項の説明）
開催日：2020年4月1日 新規採用者10名出席
- ・SD研修会（令和3年2月17日：「北海道SDGs推進プラットフォーム 第4回SDGs研究会」）
開催日：2021年2月17日 53名出席
- ・SD研修会（令和3年3月15日：『日経SDGsフォーラム特別シンポジウム「消費者共創会議」』）
開催日：2021年3月15日 34名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FD研修会では、本学の授業計画方針の確認、および教育の動向や課題等の研修を通して、教育改善に取り組んでいる。また、研修会の中で教員との意見交換や情報を共有し合うことで、自らの授業を振り返り、教育改善に反映させている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

【2020年度】

- ・有（前期：2020年6月15日～9月22日 後期：2020年10月23日～2021年2月10日）

各科目により授業日程が異なるため、回答時期は各科目の最終回に回答するよう学生に周知している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートはWeb（大学ポータルサイト）で実施している。結果については、全体の集計結果は同サイトで確認可能となっており、科目別集計は各科目ごとに用紙で作成しており各教員に配布している。また、記述式の学生意見については、教員がコメントを作成し掲示板にて公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨に基づき入学選抜を行なったが、以下の事例に鑑みるに一定の効果があつた（目的を達成できた）と判断できる。
・総合型選抜でのプレゼンテーション（テーマ「世界とわたし」）では現代の世界の課題と解決を意識したプレゼンテーションを行う受験生が多く出た。
・国連職員などの国際機関職員を目指す学生が複数名受験し、入学した。
・近隣の高校から設置趣旨に関連した問い合わせを受け、説明会や講演の要請を受けた。
・これまで入学実績のない高校からオープンキャンパスの参加者があり、全員が熱心に参加していた。

また授業開始後も「世界」や「北海道」に関わる「国際政治経済」や「国際地域文化論」の各科目で、学生は積極的な調査および自主学習を進めており、個別面談等による聞き取り調査でも授業の満足度が高いという答えや、授業に対する熱意を受け取ることが少なくなく、現在までのところは概ね良好であると言える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年5月31日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和3年5月31日を予定）

③ 認証評価を受ける計画
(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和6年に評価機関（公益財団法人 大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。